



教育委員会事務局
スポーツ生涯学習課
電話 62-3111
内線 351

平成20年度長野県青少年健全育成県民大会

県下各地より400名を超える青少年育成関係者が集い、県民大会が11月8日に地元飯山市民会館で開催されました。

会長の村井仁知事のあいさつ、石田正人飯山市長あいさつの後、青少年健全育成に長年尽力された功績者表彰が行われました。飯山市からは、剣道教室と地区子ども会育成会を通じて、健全育成に尽力された高井邦夫さん（瑞穂）と少年警察ボランティア協会の活動に尽力された木原一夫さん（太田）が表彰されました。

その後、「少年の主張長野県大会」で県知事賞を受賞した須坂市の田中麻梨さんより「私の夢」（全文「青少年補導センターだより」12月号に掲載）と題した意見発表があり、「学ばなくなった子どもたち？」の県教育委員会・町田先生の話、「心豊かな子どもを育てる親・家庭の役割」と題しての青少年育成国民会議・西原春夫会長の講演がありました。



高井邦夫さん 木原一夫さん

大会宣言

明日の長野県を担う青少年が健やかに成長することは、すべての県民の願いであります。その願いを同じくする私たちは、本日、長野県内の各地から、ここ、飯山市につどい、平成20年度長野県青少年健全育成県民大会（信州の若者をはぐくむ県民のつどい北信大会）を開催しました。この大会の中で、私たちは青少年の問題は、大人の社会を反映したものであることを、すべての県民が自覚し、それぞれの置かれた立場から、「青少年の健全育成」を考え、「家庭のあり方」を考え、「地域社会の中での非行防止」を考え、また、「携帯電話やインターネットを利用する子どもたちを犯罪やいじめから守る」を考え、これらの自発的行動が「大人が変われば、子どもも変わる」との思いをあらためて共有できました。

今、この時にあたり、私たち関係者は、ますますの連携と協調のもとに、県民総ぐるみで青少年の健全育成を一層推進するため “伸びよう 伸ばそう 青少年” を基本テーマに「青少年の社会的自立の促進」「青少年の育成に関する親・大人・社会の関心と意識の高揚」「青少年の非行防止と社会環境の浄化」「青少年のメディアリテラシー教育の推進」を柱として、この地域に生きるすべての大人がもっと、もっと積極的に子どもたちにかかわり、この宣言に盛り込まれている運動の初心にかえり、青少年育成運動に取り組みます。ここにその決意を宣言します。

平成20年11月8日
平成20年度青少年健全育成県民大会（信州の若者をはぐくむ県民のつどい北信大会）



朝霧のなか元気に登校



村井会長（知事）から表彰される高井さん

飯山市 体育指導委員会 優良団体表彰受賞

11月16日に開催された長野県体育指導委員研究協議会において、飯山市体育指導委員会が優良団体表彰を受賞しました。優良団体表彰は地域スポーツ振興に貢献した団体に贈られるもので、今回は当市体育指導委員会と茅野市体育指導委員会の2団体が受賞しました。

毎月開催している「レッツ・スポレク」を中心に、小中学校の親子レクや地域行事でのニュースポーツ指導等、様々な活動を精力的に行っていることが評価されての受賞となりました。飯山市体育指導委員会では、これからも皆さんと協力し、更に楽しい活動を行っていきます。



左から、竹内さん 小市さん・石田さん

県縦断駅伝競走 飯山下水内チーム出場

第57回長野県縦断駅伝競走が、11月15日、16日の2日間にわたり開催されました。

市町村合併により選手集めに苦労する地域もある中、今年も全15チームが参加し、長野、飯田の21区間217.1キロで熱戦を繰り広げました。

栗林新監督の下、着実に走力をつけてきた中高生に加え、冬場スキーで活躍している選手が出場、例年以上に「飯山下水内」らしいチームとなりました。総合成績は14位でしたが、19区藤本政貴選手（栄中3年）の区間賞を始め、多くの区間で昨年を超える成績を残し、来年以降につながる結果を残すことができました。

大勢の方々から温かいご声援とサポートをいただき、フィニッシュを迎えることができました。ありがとうございました。

チームを引っ張った大学生
新しい風を吹き込んだ
スキーヤー
飯山下水内
来年も頑張ります！



丸山 藍 選手



山本 大貴 選手



久保田 翔吾 選手



斉藤 亮 選手



山室 忠 選手



原 大貴 選手



服部 正秋 選手



清水 寛仁 選手



田中 耕介 選手



※紙面の都合により全ての選手の写真を掲載できませんでした。